

健感発 0208 第 1 号
薬生食監発 0208 第 1 号
平成 30 年 2 月 8 日

各
〔 都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区 〕
衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長
厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課長
（ 公 印 省 略 ）

腸管出血性大腸菌の遺伝子型検査体制の整備及び研修会の開催について

昨年、関東地方を中心に腸管出血性大腸菌 0157 の患者が発生した事案については、腸管出血性大腸菌感染症・食中毒事例の調査結果取りまとめについて（平成 29 年 11 月 20 日付け健感発 1120 第 1 号及び薬生食監発 1120 第 1 号）により、厚生労働省健康局結核感染症課長及び医薬・生活衛生局食品監視安全課長から通知したところです。

当該取りまとめにおいて、今後の対応として、詳細な調査を行うための遺伝子検査手法を統一化し解析を進めることとし、具体的には、全ての菌株の遺伝子型別の検査について、反復配列多型解析法（MLVA）※への統一化を図ることとしておりますので、下記の通り対応をよろしくお願いいたします。

※実施可能な血清型（0157、0111、026）から順次実施。

記

1. 反復配列多型解析法（MLVA）による検査体制の確保

反復配列多型解析法（MLVA）による検査体制の整備が可能な都道府県等にあつては、体制整備に向けた準備を進め、対応が可能となり次第その旨を厚生労働省宛報告すること。また、対応が困難な都道府県等にあつては、収集した患者由来菌株を、食中毒処理要領（昭和 39 年 7 月 13 日付け環発第 214 号別添（最終改正：平成 25 年 3 月 29 日付け食安発 0329 第 1 号））および感染症発生動向調査事業実施要綱（平成 11 年 3 月 19 日付け健医発第 458 号別添（最終改正：平成 29 年 12 月 15 日付け健感発 1215 第 1 号））に基づき、可及的速やかに国立感染症研究所へ送付すること。

2. 反復配列多型解析法（MLVA）による検査体制の確保状況について

反復配列多型解析法（MLVA）による検査体制の確保状況について、別添 1 に従い平成

30年3月15日までに報告を行うこと。なお。夏季の検査体制を把握する目的から、報告内容についてとりまとめ、各都道府県等への関係者へ情報共有を予定している。

3. 反復配列多型解析法（MLVA）技術研修について

反復配列多型解析法（MLVA）による検査体制の整備に向けた準備を進めるため、別紙のとおり研修会を開催することから、必要に応じ担当職員の派遣を検討すること。

腸管出血性大腸菌遺伝子型試験法研修会 開催要領
(反復配列多型解析法 (MLVA) 技術研修)

1. 目的

腸管出血性大腸菌の遺伝子型試験法を反復配列多型解析法 (MLVA) へ統一化し、感染症及び食中毒発生時に原因究明、被害拡大防止、再発防止等、迅速な各対策の構築に資することを目的とする。

2. 主催

厚生労働省

3. 対象者

各都道府県等の地方衛生研究所職員

※ ただし、参加希望者多数の場合は、反復配列多型解析法 (MLVA) 検査実施機器が整備され、同様研修 (地域保健総合推進事業の技術研修等) を未受講の地方衛生研究所職員を優先するなどの調整を行う場合があります。また、研修参加に関する旅費の支給はできませんのでご了承くださいますようお願いいたします。

4. 開催時期

平成 30 年 3 月 23 日 (金)

5. 場所

厚生労働省会議室又は近隣会議室 ※決定後別途連絡

7. 講師等 : 国立感染症研究所職員

地方衛生研究所職員

検査機器取扱事業者

8. 申し込み先

別添 2 の申し込み用紙に、所属機関、参加者名、連絡先を明記の上、3 月 2 日 (金) までに、下記までご連絡ください。

(提出先)

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課 食中毒被害情報管理室

shokuchudoku@mhlw.go.jp

9. 研修内容

腸管出血性大腸菌MLVA技術研修会プログラム

【内容】

時間	内容	講師
9:30～9:35	挨拶	厚生労働省
9:35～9:40	オリエンテーション	
9:40～11:30	講義 1 ・腸管出血性大腸菌の MLVA 解析について	国立感染症研究所
11:30～12:00	講義 2 ・大腸菌 MLVA 解析のための DNA 抽出から PCR 反応 ・シーケンサーを用いた電気泳動の解析①	東京都健康安全研究センター
12:00～13:10	昼休み	
13:10～15:00	実習 1 ・ Genemapper の使用法 ・ シーケンサーによる自動アリルコール設定 ・ PCR 産物のシーケンサーによるサイジング等	千葉県衛生研究所 (及び検査機器取扱事業者)
15:00～16:00	講義 3 ・ MLVA 型別における異動判定の考え方 ・ シーケンサーを用いた電気泳動の解析②	千葉県衛生研究所
16:00～17:00	総合討論、まとめ	

※研修内容、時間等は講師の都合により前後するなど変更になる可能性があります。